



技能士章

技能検定

(技能五輪全国大会)
(茨城県予選会)

受検案内

技能検定は、皆様がもっている技能を国が一定の基準によって検定することにより、皆様の技能と社会的地位が一層向上することを期待して行われる国家検定制度です。

技能検定の特級・1級及び単一等級に合格した方には厚生労働大臣から、2級及び3級に合格した方には、県知事から合格証書が交付され「技能士」の称号が付与されます。

誇りある「技能士」としてより充実した仕事をするためにあなたも技能検定試験にチャレンジしましょう！

1. 技能検定実施日程

		<p>平成29年10月2日(月)～10月13日(金)まで (平日 8時30分から17時15分まで。土曜・日曜・祝日は除く)</p>		
受検申請 受付		<p>受検申請書・本人確認書類(7ページ参照)及び受検手数料(8ページ参照)を茨城県職業能力開発協会(〒310-0005 水戸市水府町864-4 10ページ案内図参照)へ提出して下さい。【免除がある場合は免除になる番面のコピーを添付して下さい】</p> <p>●受検手数料は下記いずれかの方法で納入して下さい。 <現金>・受付期間中に申請書と受検手数料を当協会に持参して下さい。 <現金書留>【受付期間内の消印のみ有効】 ・現金書留封筒に申請書(折り曲げ可)と受検手数料(現金)を過不足のないように郵送して下さい。 ・受検者多数の場合は現金書留と受検申請書を分けて郵送して下さい。 <銀行振込>【受検手数料総額が概ね10万円以上または当協会会員企業・団体に限り】 ・申請内容を審査し受検資格が適格と判定されてから受付期間中に振り込みをしていただきますので早目に申請書を提出して下さい。振込手数料はご負担いただきます。</p> <p>※実技人数に制限のある作業は受付先審順となります。郵送による受付はいたしません。 ※受検申請書を受理した後は、受検手数料は申請を取り下げた場合又は試験を受けなかった場合でもお返しできません。</p>		
実技試験	問題公表	平成29年11月27日(月)	この期日から当協会でご公表します。受検者には11月27日に当協会から発送します。届かない時は当協会までお問い合わせ下さい。	
	実施期間	平成29年12月4日(月)～平成30年2月18日(日)	期間内の 指定する日	実技試験・学科試験とも試験を実施する日時・会場が決定次第、受検票にて通知いたします。日時・会場の変更希望には応じられません。
学科試験	実施日	平成30年1月21日(日) 平成30年1月28日(日) 平成30年2月4日(日)	3日間のうちいずれか一日 (2～3ページ参照)	
合格発表		平成30年3月16日(金)	<p>●技能検定合格者 茨城県職業能力開発課より郵便で通知します。 また、茨城県職業能力開発課ホームページに受検番号を掲載します。 http://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/shokorodo/shokuno/index.html</p> <p>●実技又は学科試験のみ合格者 当協会より郵便で通知します。(なお、この通知書は次年度からの免除資格となりますので、大切に保管して下さい。) また、当協会ホームページに受検番号を掲載します。 http://www.ib-syokkyo.com</p> <p>●不合格者への通知はいたしません。 ●電話による可否の問い合わせには応じられません。 ●実技及び学科試験の得点結果の開示を希望される方は、茨城県職業能力開発課にて開示の手続きを行なって下さい。</p>	

2. 実施職種、実施日、受験手数料

特級・1級・2級・3級及び単一等級

検定職種	選択科目	実 技 試 験			学科試験	受 検 手 数 料		備 考 (実技の会場等)	
		製作等作業試験 (旧作業試験)	判断等試験 (旧要素試験)	計画立案等 作業試験 (旧ペーパーテスト)	全国统一	実 技	学 科		
★1級・2級 (28職種36作業)									
鍛造	プレス型鍛造	◆	—	*1月21日	1月21日				
金型製作	プレス金型製作	◆	—	—	*1月28日				
工場板金	●機械板金(注1)	◆	—	—	*1月28日				
	●数値制御メカトロニクス板金(注1)	◆	—	—	*1月28日				
機械検査	機械検査	◆	—	*1月21日	1月21日				
電気機器組立て	シーケンス制御	◆	—	*1月21日	1月21日				
半導体製品製造	集積回路チップ製造	—	1月21日	—	2月4日				
	集積回路組立て	—	1月21日	—	2月4日				
プリント配線板製造	プリント配線板設計	1月21日	—	—	2月4日			職業人材育成センター	
	プリント配線板製造	—	1月14日	—	2月4日			職業人材育成センター	
光学機器製造	光学機器組立て	◆	—	—	2月4日			実技は人数制限有り	
内燃機関組立て	量産形内燃機関組立て	◆	—	1級のみ*1月21日	1月21日				
空気圧装置組立て	空気圧装置組立て	—	1月14日	1月14日	*2月4日				
油圧装置調整	油圧装置調整	—	—	*1月28日	1月28日				
農業機械整備	農業機械整備	—	—	*1月28日	1月28日				
冷凍空調和機器施工	●冷凍空調和機器施工(注2)	—	—	*1月28日	1月28日			職業人材育成センター	
婦人子供服製造	婦人子供既製服縫製	—	—	1級のみ*1月21日	1月21日			職業人材育成センター	
和裁	和服製作	—	—	—	1月28日			職業人材育成センター	
石材施工	石材加工	◆	—	—	1月28日				
建築大工	大工工事	—	—	—	2月4日			職業人材育成センター	
かわらびき	かわらびき	—	—	—	2月4日			職業人材育成センター (実技は人数制限有り)	
配管	建築配管	—	—	*1月21日	1月21日			職業人材育成センター	
	●プラント配管(注3)	—	—	*1月21日	1月21日			職業人材育成センター (実技は人数制限有り)	
型枠施工	型枠工事	—	—	1級のみ*1月21日	1月21日			職業人材育成センター	
鉄筋施工	鉄筋組立て	—	—	—	*2月4日			職業人材育成センター	
コンクリート圧送施工	コンクリート圧送工事	—	1月14日	1月14日	*2月4日			職業人材育成センター	
防水施工	アスファルト防水工事	1月27日	—	—	1月28日			職業人材育成センター (実技は人数制限有り)	
	合成ゴム系シート防水工事	1月27日	—	—	1月28日			職業人材育成センター (実技は人数制限有り)	
	塩化ビニル系シート防水工事	1月27日	—	—	1月28日			職業人材育成センター (実技は人数制限有り)	
	改質アスファルトシート手工法防水工事	1月27日	—	—	1月28日			職業人材育成センター (実技は人数制限有り)	
ガラス施工	ガラス工事	◆	—	1級のみ*1月21日	1月21日			職業人材育成センター	
機械・プラント製図	機械製図手書き	1月21日	—	—	1月28日				
	機械製図CAD	1月21日	—	—	1月28日			(注意事項13)	
電気製図	配電盤・制御盤製図	1月21日	—	—	2月4日				
金属材料試験	組織試験	◆	—	—	1月21日				
塗装	鋼橋塗装	◆	—	—	2月4日			職業人材育成センター	
★単一等級 (3職種3作業)									
電子回路接続	電子回路接続	◆	—	—	2月4日			※受験手数料の 金額は、8ページ をご参照ください	
樹脂接着剤注入施工	樹脂接着剤注入工事	1月27日	—	—	2月4日				職業人材育成センター (実技は人数制限有り)
製麺	機械乾麺製造	◆	—	*1月28日	1月28日				

※受験手数料の金額は、8ページをご参照ください

とも次の職種について実技試験及び学科試験を実施します。

検定職種	選択科目	実 技 試 験			学科試験	受 検 手 数 料		備 考
		製作等作業試験 (旧作業試験)	判断等試験 (旧要素試験)	計画立案等 作業試験 (旧ペーパーテスト)	全国統一	実 技	学 科	
★3 級 (15職種17作業)								
造園	造園工事	—	—	—	*1月28日	※受検手数料の 金額は、8ページ をご参照ください	(注意事項12)	
機械加工	普通旋盤	—	—	—	2月4日			
機械検査	機械検査	—	—	—	*2月4日			
電子機器組立て	電子機器組立て	—	—	—	*2月4日			
電気機器組立て	シーケンス制御	—	—	—	1月21日			
冷凍空調機器施工	冷凍空調機器施工	—	—	—	1月28日			
和裁	和服製作	◆	—	—	1月28日			
家具製作	家具手加工	—	—	—	*1月28日			
建築大工	大工工事	—	—	—	2月4日			
配管	建築配管	—	—	—	1月21日			
型枠施工	型枠工事	—	—	—	1月21日			
鉄筋施工	鉄筋組立て	—	—	—	*2月4日			
テカイラストレーション	テカイラストレーション手書き	1月14日	—	—	2月4日			(注意事項13)
	テカイラストレーションCAD	1月14日	—	—	2月4日			(注意事項13)
機械・プラント製図	機械製図手書き	1月21日	—	—	1月28日			
	機械製図CAD	1月21日	—	—	1月28日			
電気製図	配電盤・制御盤製図	1月21日	—	—	2月4日			

★特 級 (25職種)

鋳造・金属熱処理・機械加工・放電加工・金型製作・金属プレス加工 工場板金・めっき・仕上げ・機械検査 ダイカスト・電子機器組立て 電気機器組立て・半導体製品製造・プリント配線板製造 自動販売機調整・光学機器製造・内燃機関組立て 空気圧装置組立て・油圧装置調整・建設機械整備 婦人子供服製造・紳士服製造・プラスチック成形・パン製造	—	—	*1月28日	1月28日	※受検手数料の 金額は、8ページ をご参照ください	特級受検者は1級 技能検定合格証書 のコピーを添付し て下さい。
---	---	---	--------	-------	---------------------------------	---

注意事項

- 備考欄の「実技は人数制限有り」の作業は、受付の先着順となります。実技試験の受検者が多数の場合は、職種（作業）により、一社の人数を制限させていただく場合があります。郵送による受付はいたしませんのでご注意ください。
- 職種によっては設備等の都合により受検申請受付期間中でも、締め切る場合があります。また、実技試験の受検者が僅少の場合には、学科試験のみを実施し、実技試験は実施しない場合があります。
- ◆印は平成29年12月4日から平成30年2月18日までの指定する日です。決定次第、受検票にて通知いたします。受検者の都合による変更はできません。
- 印(注1) 1、2級とも、動力プレス機械の金型の取付け等の作業に関し労働安全衛生法に基づく安全又は衛生のための特別教育を修了した証明書等の写しの提示、又は特別の教育と同等の知識及び技能を有していることの申告を要する。
●印(注2) 製作等作業試験については、1、2級とも、労働安全衛生法に基づくガス溶接作業主任者免許証又はガス溶接技能講習修了証その他資格を証する書面の携帯を要する。
●印(注3) 1、2級とも、労働安全衛生法に基づくガス溶接作業主任者免許証又はガス溶接技能講習修了証その他資格を証する書面の携帯を要する。
1、2級とも、アーク溶接等の作業に関し労働安全衛生法に基づく安全又は衛生のための特別教育を修了した証明書等の写しの提示、又は特別の教育と同等の知識及び技能を有していることの申告を要する。
- 学科試験・判断等試験（旧要素試験）・計画立案等作業試験（旧ペーパーテスト）欄の*印の試験は午後実施します。それ以外の職種は午前の実施です。
- 製作等作業試験・判断等試験・計画立案等作業試験は実技試験の一部で学科試験とは別になります。受検時に注意して下さい。
- 受検手数料は受付の際に資格審査が済みましたら、その場でお支払い下さい。
- 実技と学科を両方とも同時に免除で申請する場合、受検手数料及び写真は必要ありません。
- 実施職種以外でも、実技と学科を両方とも同時に免除で申請する場合に限り、受付期間内において申請することができます。
- 身体等に障害がある方で、試験当日援助等を必要とする場合は、受検申請時にお申し出下さい。
- 受検申請書を受理した後は、申請を取り下げた場合又は試験を受けなかった場合でも、受検手数料はお返しできません。
- 3級「造園工事」作業については、今年度は実技試験は実施せず、学科試験のみ実施します。
- テカイラストレーションCAD作業・機械製図CAD作業については、試験会場によって使用する機種が異なります。詳細は当協会までお問い合わせ下さい。

3. 受検資格

技能検定には、各級ごとにそれぞれ受検資格区分があり、この資格は職業訓練歴や学歴により定められていますが、いずれも原則として検定職種に関する実務の経験が必要です。必要な実務の経験年数は下表のとおりです。
実務経験年数は、受付期間最終日（平成29年10月13日）現在で算定します。

(単位：年)

区 分	特 級	1 級			2 級		3 級	単一等級
	1級の技能検定に合格した後の実務経験年数(※5)	1級の受検に必要な実務経験年数			2級の受検に必要な実務経験年数		3級の受検に必要な実務経験年数	単一等級の受検に必要な実務経験年数
		直接1級を受検	2級合格後	3級合格後	直接2級を受検	3級合格後		
実務経験のみ		7			2		0 (※2)	3
高校卒業後の実務経験(※1)		6			0		0	1
短大・高専・高校専攻科卒業後の実務経験(※1)		5			0		0	0
大学卒業後の実務経験(※1)		4			0		0	0
専修学校又は各種学校卒業後の実務経験(厚生労働大臣が指定したものに限り)(※1)	800時間以上	6	2	4	0	0	0 (※3)	1
	1600時間以上	5			0		0 (※3)	1
	3200時間以上	4			0		0 (※3)	0
短期課程の普通職業訓練修了後の実務経験(※1)	700時間以上	6			0	0	0 (※4)	1
普通課程の普通職業訓練修了後の実務経験(※1)	2800時間未済	5			0		0	1
	2800時間以上	4			0		0	0
専門課程の高度職業訓練修了後の実務経験(※1)		3	1	2	0		0	0
応用課程の高度職業訓練修了後の実務経験(※1)					0		0	0
長期課程の指導員養成訓練修了後の実務経験(※1)			1		0		0	0
職業訓練指導員免許取得後の実務経験(※1)					—		0	0
上記に掲げる学校・訓練校の在学中及び訓練中の者(※1)	—		—		—		0	—

- 1 (※1) 検定職種に関する学科、訓練科又は免許職種に関するものに限り、(関する学科については10ページ別表参照) 検定職種に関連のない学科・訓練科又は免許職種を卒業又は修了した者は「実務経験のみ」の欄の年数になります。
- 2 (※2) 検定職種に関して実務の経験を有する(したことのある)者について、受検資格を認めます。
- 3 (※3) 当該学校が厚生労働大臣の指定を受けたものであるか否かに関わらず受検資格を付与します。
- 4 (※4) 総訓練時間が700時間未満のものを含みます。
- 5 (※5) 特級受検お申込みの際は1級技能検定合格証の写しをご提出下さい。
- 6 必要な実務経験年数とは、申請書受付最終日(10月13日)現在までに有すべき年数となります。
- 7 1・2級の直接受検とは、検定職種について上表の実務経験年数があれば2・3級に合格することなく直接1・2級を受検することができることをいいます。
- 8 1級・2級・3級合格後とは、合格証書交付年月日が起算年月日になります。
- 9 厚生労働大臣指定校は別に定められておりますので分からない場合は協会までお問い合わせ下さい。
- 10 受検資格判定等で困難が生じる場合、成績(履修)証明書を提出いただく場合があります。

4. 試験の免除

受検申請時に下表に該当する方は、それぞれ当該試験が免除されます。申請書提出の際、申請書の免除欄に所要の事項を記入するとともにその免除資格を証する書面のコピーを添えて提出して下さい。なお、申請手続き終了後に免除資格を申し出て免除は受けられませんのでご注意下さい。

免除の対象者	免除される職種及び試験	免除される等級	備考
技能検定に合格した方	同一検定職種の学科試験	1級合格者は1級、2級又は3級 2級合格者は2級又は3級 3級合格者は3級 単一等級合格者は単一等級	
技能検定の実技試験又は学科試験に合格した方	同一検定職種当該作業の実技試験又は学科試験	特級合格者は特級 1級合格者は1級、2級又は3級 2級合格者は2級又は3級 3級合格者は3級 単一等級合格者は単一等級	特級は、実技試験又は学科試験に合格した日から5年間(最終年にあつては年度終わりまで)有効
職業訓練指導員試験に合格した方又は職業訓練指導員免許を受けた方	相当する検定職種の学科試験	1級、2級、3級又は単一等級	
建築士 建築士法による1・2級建築士試験に合格した方又は1・2級建築士の免許を受けた方	建築大工職種、ブロック建築職種、枠組壁建築職種の学科試験	1級、2級又は単一等級	
建築士 建築士法による木造建築士試験に合格した方、又は木造建築士の免許を受けた方	建築大工職種、枠組壁建築職種の学科試験	1級、2級又は単一等級	
技能 照 査	応用課程又は特定応用課程の高度職業訓練における技能照査の合格後、5年以上の実務経験を有する方	相当する検定職種の学科試験	特級、1級、2級、3級又は単一等級
	応用課程又は特定応用課程の高度職業訓練における技能照査の合格後、2年以上の実務経験を有する方	相当する検定職種の学科試験	1級、2級、3級又は単一等級
	応用課程又は特定応用課程の高度職業訓練における技能照査に合格した方	相当する検定職種の学科試験	2級、3級又は単一等級
	専門課程又は特定専門課程の高度職業訓練における技能照査の合格後、4年以上の実務経験を有する方	相当する検定職種の学科試験	1級、2級、3級又は単一等級
	専門課程又は特定専門課程の高度職業訓練における技能照査の合格後、1年以上の実務経験を有する方	相当する検定職種の学科試験	2級、3級又は単一等級
	専門課程又は特定専門課程の高度職業訓練における技能照査に合格した方	相当する検定職種の学科試験	2級又は3級
	普通課程の普通職業訓練における技能照査の合格後、2年(訓練時間2,800時間以上は1年)以上の実務経験を有する方	相当する検定職種の学科試験	2級、3級又は単一等級
	普通課程の普通職業訓練における技能照査に合格した方	相当する検定職種の学科試験	2級又は3級
短期課程の普通職業訓練について修了時試験合格かつ修了した方	相当する検定職種の学科試験	1級技能士コースは1級、2級又は3級 2級技能士コースは2級又は3級 単一等級技能士コースは単一等級	
技能 証	技能五輪全国大会において技能証の交付を受けた方	相当する検定職種の实技試験	1級又は単一等級
	技能五輪地方大会において技能証の交付を受けた方	相当する検定職種の实技試験	2級又は3級
	全国障害者技能競技大会の实技部門又は学科部門において技能証の交付を受けた方	相当する検定職種の实技試験又は学科試験	2級又は3級
東京商工会議所が行う和裁の技能検定に合格した方	和裁職種の实技試験	1級合格者は1級又は2級 2級合格者は2級	
都道府県技能検定委員の職にあつた期間が通算して2年以上である者	同一検定職種当該作業の実技試験	1級、2級、3級又は単一等級	

5. 技能検定に係る講習会実施団体一覧

職種名	作業名	実施団体	電話番号	備考
農業機械整備	農業機械整備	茨城県農機具商業協同組合	029-226-1451	
冷凍空調和機器施工	冷凍空調和機器施工	(一社)茨城県空調衛生工事業協会	029-240-5617	
石材施工	石材加工	茨城県石材業協同組合連合会	0296-55-2535	
建築大工	大工工事	日立建設高等職業訓練校	0294-21-0711	
		水戸建築高等職業訓練校	029-239-3731	
		結城地区建設高等職業訓練校	0296-32-3017	
		江戸崎地区建築高等職業訓練校	029-892-2936	
		龍ヶ崎地区高等職業訓練校	0297-62-4214	
		笠間地区建設高等職業訓練校	0296-72-0298	
かわらぶき	かわらぶき	茨城県瓦工事業組合連合会	0296-72-0843	
配管	建築配管	(一社)茨城県空調衛生工事業協会	029-240-5617	
鉄筋施工	鉄筋組立て	茨城県鉄筋業協同組合	029-244-7155	
防水施工	アスファルト防水工事	茨城県防水工事業連合会	0280-31-3333	(講習会実施あり) 直接お申込下さい
	合成ゴム系シート防水工事			
	塩化ビニル系シート防水工事			
	改質アスファルトシート一工法防水工事			
ガラス施工	ガラス工事	茨城県板硝子商工組合連合会	029-239-7138	
塗装	鋼橋塗装	茨城県建築塗装技能士会	029-244-3581	
樹脂接着剤注入施工	樹脂接着剤注入工事	茨城県防水工事業連合会	0280-31-3333	

*講習会受講希望がある場合は上記団体に直接お問い合わせ下さい。
*上記表は講習会実施実績がある団体等です。今年度も必ず講習会を開催するとは限りません。

技能検定受検申請書

技能検定を受けたいので申請します。(申請する日記入)
 厚生労働大臣 殿 平成 29 年 10 月 8 日
 茨城県 県 署

氏名 茨城 太郎

検査職種 空気圧装置組立て	1 職	受験番号 ※
選取作業 空気圧装置組立て	1 職	46 年 4 月 5 日生 (46 歳)
フリガナ イバラキ	夕ロウ	
氏名 茨城 太郎	性別 男	
住所 〒310-0005 水戸市水府町864-4	電話 029-221-8647	
予 校 名	所 在 地	台 字 訓 間
〇〇中学校	〇〇市〇〇町	S59年4月～S62年3月 (空) 中退・在学中
〇〇高等学校	〇〇市〇〇町	S62年4月～H2年3月 (空) 中退・在学中
〇〇高等職業訓練校	〇〇市〇〇町	H2年4月～H4年3月 (空) 中退・在学中
専攻科名	所 在 地	年 月 年 月
〇〇製作所	〇〇市〇〇町	H4年4月～H10年6月
〇〇工業㈱	〇〇市〇〇町	H10年7月～H29年10月
技能検定合格状況	専 業	年 月 年 月
2 職 茨城	取得地	取得年
都道府県(作業者)	茨城	H9年3月23日
都・市・区・町・村(作業者)	水戸市	第185号
都道府県(作業者)	茨城	H22年3月14日
都・市・区・町・村(作業者)	水戸市	第127号
1 技能検定合格 (作業者)	取得地	取得年
2 技能検定合格 (作業者)	取得地	取得年
3 技能検定合格 (作業者)	取得地	取得年
4 技能検定合格 (作業者)	取得地	取得年
5 技能検定合格 (作業者)	取得地	取得年

資格等記入欄
 履歴内容は必ず記入
 経歴わかる履歴(号)も添付せよ
 技能申請書は「受検資格欄」に記入する
 下等職業検定の技能検定年号として記入する
 受検日付は技能検定の「受検年」に記入する

6. 受検申請書記入例

(個人情報について)
 技能検定に関連してご提供いただいた個人情報は、個人情報を保護する観点から、適切に取扱いいたします。
 ◆個人情報の利用について
 1) 円滑な試験の実施のため、試験会場となる事業所等へ、職・職種・受験番号、氏名、所属等を開示する場合があります。
 2) 試験に合格した際は「受検番号」を公表します。
 3) 技能検定に係る講習会の一部の職種で実施されますが、実施する団体は氏名・住所・電話番号、所属を知らせるなどの承諾の取得に基づいて、下記を〇で記入してください。(承諾されないう場合は、講習会の参加は発行されません。)

◆受検票・受検問題・合格通知を勤務先に送付希望の場合には、下記に記入して下さい。
 (受検者が5名以上、または採用協会の企業(団体)に限る)

受検票等・受検問題・合格通知送付先

事業所名	〇〇工業㈱
所在地	〒000-0000 〇〇市〇〇町〇〇 OTB〇番地
所属者	〇 〇 課
担当番号	〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

私は、申請者が弊社上記担当者に対して試験結果を提出することを承諾し、署名いたします。
 本人印署 茨城 太郎

◎年令・学歴早見表

(受験資格算出にご利用下さい)

生年	年令	中学卒	高校卒
昭和24	68	40	43
25	67	41	44
26	66	42	45
27	65	43	46
28	64	44	47
29	63	45	48
30	62	46	49
31	61	47	50
32	60	48	51
33	59	49	52
34	58	50	53
35	57	51	54
36	56	52	55
37	55	53	56
38	54	54	57
39	53	55	58
40	52	56	59
41	51	57	60
42	50	58	61
43	49	59	62
44	48	60	63
45	47	61	平成1
46	46	62	2
47	45	63	3
48	44	平成1	4
49	43	2	5
50	42	3	6
51	41	4	7
52	40	5	8
53	39	6	9
54	38	7	10
55	37	8	11
56	36	9	12
57	35	10	13
58	34	11	14
59	33	12	15
60	32	13	16
61	31	14	17
62	30	15	18
63	29	16	19
平成1	28	17	20
2	27	18	21
3	26	19	22
4	25	20	23
5	24	21	24
6	23	22	25
7	22	23	26
8	21	24	27
9	20	25	28
10	19	26	29
11	18	27	30

◎早生まれの者(1月～3月までに生まれたる者)は前年を参考。

7. 本人確認書類について

平成29年度後期技能検定試験より申請受付の際に本人確認書類の提示がすべての職種・等級において必要となります。下記の表を参考に必ずいずれかの本人確認書類を申請書の裏に貼り付けて提出してください。なお、受付時にコピー対応は致しかねますのであらかじめご承知おき下さい。郵送で本人確認書類が申請書に添付されていない場合、受付受理されませんのでご注意ください。

本人確認書類	注 意 事 項
■ 運転免許証	<ul style="list-style-type: none"> ・うら面に氏名変更・住所変更の記載がある場合、うら面コピーも添付して下さい。 ・うら面をコピーする際は公印が鮮明に見えるようにして下さい。
■ 個人番号カード	<ul style="list-style-type: none"> ・おもて面のコピーのみ添付してください。(うら面のコピーは添付しないでください。)
■ 住民票の写し ※個人番号(マイナンバー)の記載のないもの	<ul style="list-style-type: none"> ・本籍地は不要ですので、記載がある場合は、本籍地を塗りつぶしてください。
■ その他の日本の官公庁が発行した身分証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・氏名及び生年月日が確認できるものに限る。
■ 特別永住者証明書、在留カード	<ul style="list-style-type: none"> ・[在留カード] うら面に現住所などの記載がある場合は、うら面のコピーも必ず添付してください。 ・[特別永住者証明] おもて面とうら面、両方のコピーを添付してください。 ・交付年月日の記載されているものに限ります。 ・記載事項に訂正がある場合は、公印が鮮明に見えるようにコピーしてください。
■ 各種健康保険被保険者証	<ul style="list-style-type: none"> ・お名前・ご住所・生年月日の記載があるページを全てコピーしてください。 ・カード型健康保険証の場合は、おもて面に住所が印字されている場合と、うら面に住所等の記入欄にある場合があります。カードうら面に住所等の記入欄がある場合は、ご住所をうら面に記入したうえで、おもて面と共いうら面も必ずコピーしてください。 ・うら面のご住所に訂正がある場合は、旧住所を二重線で消してください。 ・通院歴は不要ですので、記載がある場合は、ご家族分も含め塗りつぶしてください。
■ 生徒手帳、学生証	<ul style="list-style-type: none"> ・氏名及び生年月日が確認できるものに限る。
■ 外国政府が発行した旅券	<ul style="list-style-type: none"> ・写真欄及び日本国査証欄

※共通注意事項

- ・期限付きの書類は当協会到着時に有効期限内であること。
- ・受付時に本人確認書類のコピー対応は致しかねますので、必ずあらかじめご用意ください。
- ・原本は提出しないでください。
- ・技能士手帳及び技能士カードにおいては、本人確認書類に含みませんので、上記の本人確認書類にて提出をお願いいたします。

8. 受検手数料の減額について

平成29年3月29日付け茨城県条例第9号において茨城県手数料徴収条例の一部改正があり、平成29年度後期技能検定試験より35歳未満の2級及び3級受検者を対象とした実技試験手数料の減額が行われます。なお、学科試験は現行の手数料に変更ありません。また、減額に伴い技能検定申請時に本人確認書類（運転免許証等）の添付が必要になります。本人確認の書類添付は年齢や等級に関係なくすべての申請者に提出していただくことになります。あらかじめご承知おきください。

●減額の対象と手数料

年齢(受付年度の4月1日時点)	級別	実技試験手数料	学科試験手数料	合計手数料
35歳以上及び存留資格者 (昭和57年4月1日以前生まれの方)	すべての級	17,900円	3,100円	21,000円
35歳未満 (昭和57年4月2日以降生まれの方)	特級	17,900円	3,100円	21,000円
	1級			
	単一			
	五輪	8,900円	—	8,900円
	2級		3,100円	12,000円
	3級	8,900円 (※2,900円 ただし、存留資格者 は11,900円)		12,000円 (※6,000円)

※高等学校など在校生

注意事項

- 1 茨城県で公示する職種はすべて減額の対象です。
- 2 実技試験手数料減額の対象者は35歳未満の2級・3級及び技能五輪全国大会茨城県予選会申請者です。1級などその他の級については対象外となります。
- 3 35歳以上の方はすべての級において対象外となります。
- 4 外国人実習生など、出入国管理及び難民認定法別表第一の在留資格に該当する方は減額対象外です。
- 5 過去に遡って受検手数料を減額(返還)することはありません。
- 6 手数料減額について平成30年度以降は変更される場合があります。

9. 技能検定についてよくある質問

- 希望する職種（作業）の概要及び過去問が見たいのですが。
⇒ 概要については下記中央職業能力開発協会ホームページに掲載されています。
中央職業能力開発協会 http://www.javada.or.jp/jigyuu/gino/giken/giken_jisshi_itiran.html
また、過去問については1部500円でコピーサービスを行っております。詳しくは当協会技能検定課までお問い合わせ下さい。
- 過去に実技試験又は学科試験のいずれか一方に合格しているが、免除資格の有効期限はありますか。
⇒ 特級は合格発表日から5年の有効期限があります。特級以外の級には有効期限はありません。
- 過去に実技試験又は学科試験に合格したが、合格通知を紛失してしまった場合はどうしたらよいですか。
⇒ 合格通知書を紛失した場合でも免除資格は有効です。当協会で合格内容（合格番号、合格年月日等）を確認いたしますので、（ただし、茨城県での合格者に限る）受検申請受付時にお問い合わせ下さい。郵送で申し込む場合は記入できる（わかる）範囲で記入し、「科目合格証紛失」と書いた付箋を貼って下さい。
- 実技試験を過去に合格し、学科試験も免除になっているのですが技能検定合格となるにはどのような手続きが必要ですか。
⇒ 実技試験、学科試験とも免除を受けることができる方（両方免除）は技能検定合格の対象ですが、改めて技能検定受検申請が必要です。申請方法は他の受検申請と同様ですが、受検手数料はかかりません。
- 受検申請をしたがキャンセルしたい。受検料は返金してもらえますか。
⇒ いかなる理由であっても一旦支払われた受検手数料は返金できません。また、次回に繰り越すこともできません。
- 試験日、試験会場は決まっていますか。
⇒ 学科試験日はP 2・3の「2.実施職種、実施日、受検手数料」の表に掲載しております。また、試験会場は申請受付時には決まっておりません。受検票にて通知いたします。
⇒ 実技試験については日程、会場とも申請受付時には決まっておりません。決定後受検票に記載して通知いたします。（一部、日程・会場が決まっている職種はP 2・3の「2.実施職種、実施日、受検手数料」の表に掲載しております。）
※受検票は12月下旬までに発送を予定しております。
- 受検票が届き試験日程を確認したが、都合が悪くて出席できない。試験日程の変更は可能ですか。
⇒ 試験日程の変更はできません。試験当日に来られない場合は欠席として取り扱います。
- 講習会は実施していますか。
⇒ 当協会では講習会は実施しておりません。講習会の実施実績がある団体等をP 5に記載しておりますので、講習会に関するご質問等は各団体等へ直接お問い合わせ下さい。
なお、受検申請書右側〈個人情報について〉欄の「承諾する」に○を付けた場合、当協会から講習会開催予定のある団体等へ住所・氏名等を情報提供し、団体等から直接受講案内が送付されます。（講習会開催予定の団体等がない場合は当協会から情報提供は行わず、受講案内も届きません。）
「承諾しない」に○を付けた場合又はいずれにも○を付けない場合は、講習会開催予定の有無に関わらず当協会から団体等への情報提供は行わず、受講案内も届きません。
※P 5に記載の講習会の実施実績がある団体等が必ず講習会を実施するとは限りませんので予めご了承下さい。
- 自分の得点が知りたいのですが。
⇒ 実技及び学科試験の得点結果の開示を希望される方は、合格発表日以後に茨城県職業能力開発課にて開示の手続きを行って下さい。手続き方法など詳細は、下記問い合わせ先にお電話下さい。

問い合わせ先

茨城県商工労働観光部職業能力開発課
水戸市笠原町978-6（茨城県庁15階）
電話：029-301-3656

技能五輪全国大会茨城県予選会参加案内

「技能五輪全国大会」は、青年技能者の技能レベルの日本一を競う技能競技大会で、次代を担う青年技能者に努力目標を与えるとともに、大会開催地域の若年者に優れた技能を身近にふれる機会を提供するなど、技能の重要性、必要性をアピールし、技能尊重気運の醸成を図ることを目的に開催される「技能の祭典」です。

予選会は、平成30年度に開催される「第56回技能五輪全国大会」に派遣する選手を選抜する予選となっております。奮ってご参加下さい。

(1) 実施競技職種及び参加手数料

競技職種名	競技課題	参加料
機械製図	【機械・プラント製図(機械製図CAD作業)2級課題】	8,900円
建築大工	【建築大工(大工工事作業)2級課題】	
配管	【配管(建築配管作業)2級課題】	
冷凍技術	【冷凍空気調和機器施工(冷凍空気調和機器施工作業)2級課題】	
西洋料理	中央職業能力開発協会が定めた課題	
電気溶接 電工		

(2) 参加資格 平成7年(西暦1995年)1月1日以降に生れた者

(3) 受付期間 平成29年10月2日(月)から10月13日(金)まで

(4) 提出書類 「技能五輪全国大会茨城県予選会参加申込書」に必要事項を記載し、参加料を添えてお申込みください。
また、技能検定の受検を兼ねて申込みする者は、「技能検定受検申請書」の表面右上に「五輪」と朱書きの上、受検手数料を添えてお申込みください。

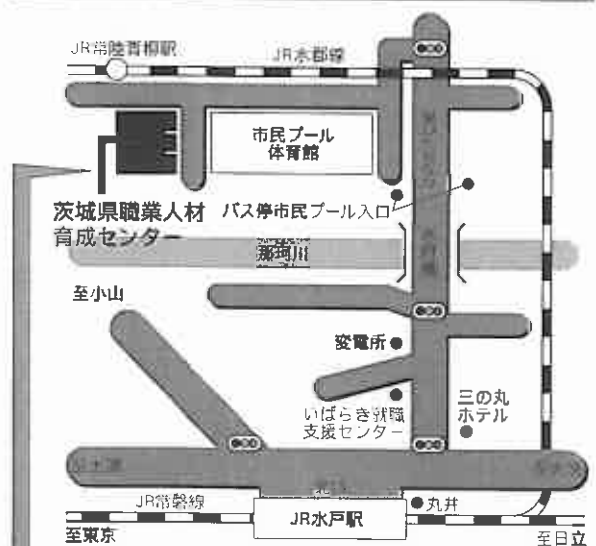
(5) 実施期間 平成29年12月4日(金)から平成30年2月18日(日)までの期間の指定する日。

(6) 課題の公表 平成29年11月27日(月)以降、公表いたします。

【別表】 技能検定職種に関する学科一覧

検定職種	検定職種に関する学科
造園	造園科
鍛造	金属工学科・機械科
金型製作	機械科
機械加工	
工場板金	
機械検査	
電子回路接続	機械科・電子科・電気科
電子機器組立て	電子科・電気科
電気機器組立て	電子科・電気科
半導体製品製造	機械科・電子科・電気科
プリント配線板製造	電子科・電気科
光学機器製造	機械科・物理学科
内燃機関組立て	自動車科
空気圧装置組立て	機械科
油圧装置調整	
農業機械整備	
冷凍空気調和機器施工	設備科
婦人子供服製造	被服科・服装科・洋裁科
和裁	被服科・服飾科・和裁科
家具製作	工芸科
石材施工	建築科・土木科
建築大工	建築科・大工科
かわらぶき	建築科
配管	機械科・造船科・建築科
型枠施工	建築科・土木科
鉄筋施工	
コンクリート圧送施工	
防水施工	建築科
樹脂接着剤注入施工	
ガラス施工	
テクニカルイラストレーション	機械科・電気科・建築科
機械・プラント製図	機械科・金属工学科・溶接工学科・化学工学科・工業化学科
電気製図	電気科
金属材料試験	金属工学科・機械科
塗装	建築科・工芸科・塗装科
製麺	農業化学科・食品科・食品工学科

〈お問い合わせは下記へ〉



〒310-0005 水戸市水戸町864-4
茨城県職業人材育成センター内
茨城県職業能力開発協会
(技能検定課)
電話 029-221-8647 FAX 029-226-4705
ホームページ <http://www.ib-syokkyo.com>

茨城県商工労働観光部職業能力開発課 (技能振興グループ)

〒310-8555 水戸市笠原町978-6 (茨城県庁)
ホームページ <http://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/shokorodo/shokuno/index.html>